

IHEチュートリアル 2024.11.21 THU

コネクタソンシール

一般社団法人 日本IHE協会
副理事長 接続検証委員会委員長

塩川 康成

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

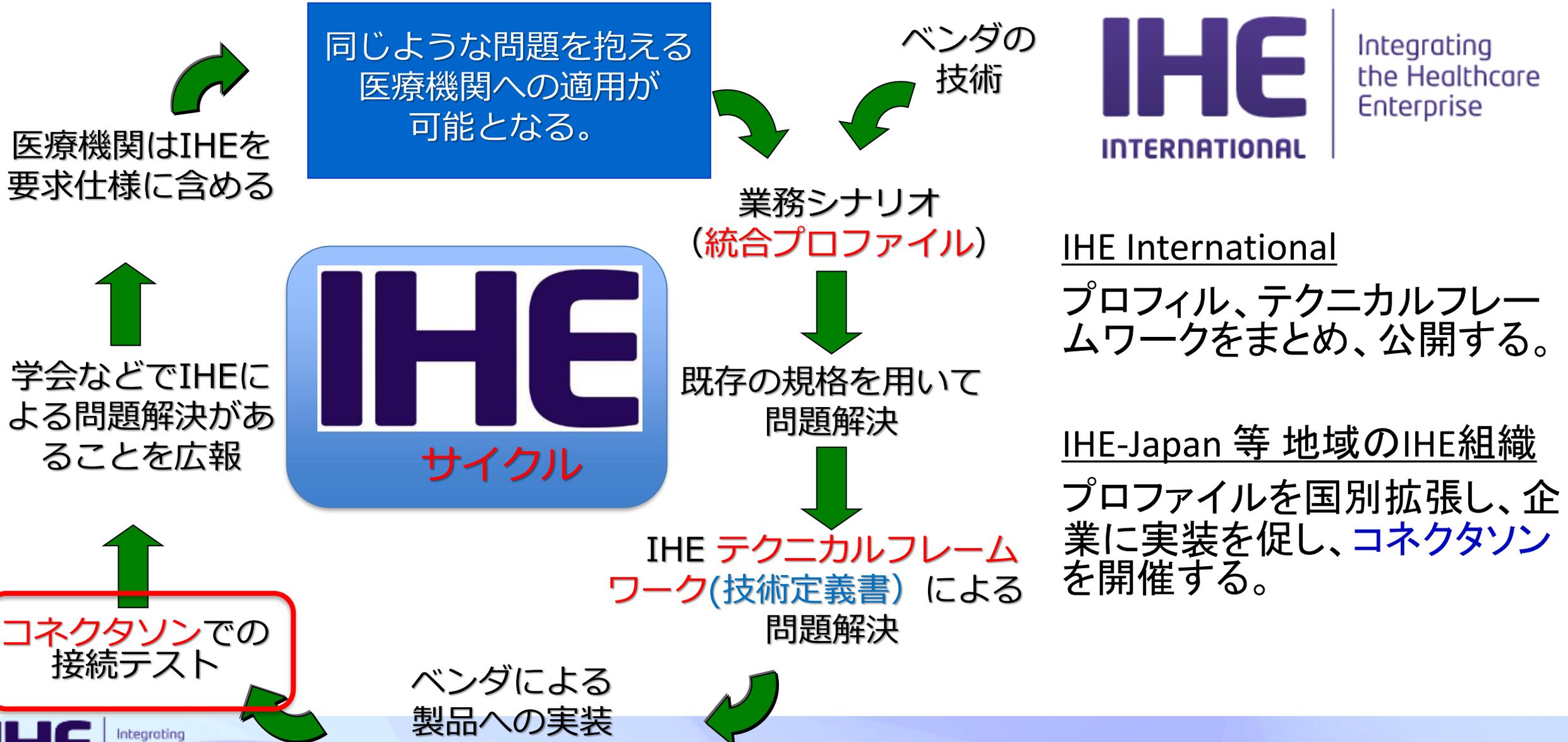
日本HL7協会 適合性認定委員長

日本医療情報学会 理事 倫理委員会副委員長

上級医療情報技師 S20070007

上級医療情報技師育成指導者

IHE サイクル: 普及推進の為の自己回帰型活動



IHE コネクタソン:ベンダに接続検証の場を提供



IHE EU Connectathon 2023 Rennes France Sep.25-29 2023

IHE チュートリアル「ここまで進んだIHE - IHE UPDATE 2024 -」

日本コネクタソン2024 10/21月～25金

FHIRプロファイル(PDQm、MHD、IUA)説明会



場所: 東京都産業貿易センター台東館6階(東京 浅草)

IHE チュートリアル「ここまで進んだIHE - IHE UPDATE 2024 -」

コネクタソンの意義

IHE実装ベンダに接続試験の場を提供する。

- ← 開催各地の独自の審査基準と運営ルール
開催国、地域のNational Extensionを重視
- ← 審査員はボランティアで募集した一般人(日本では技術委員)
- ← 合格企業は公開されるが開催地別 (NA、EU、JP...)
- ← 他地域の合格は審査上考慮されない
- ← IHE International は開催承認はするが、運営には干渉せず

⇒ **IHEが認定を与える場ではない**

= ベンダはコネクタソン合格を前提として、自己責任にてIHE統合宣言書を公開し、自社製品がIHEに適合していることを示す。

コネクタソン合格の意味

- 対象ベンダは、コネクタソンの場で複数の他の製品、半製品とIHEの手順で連携し、基本的な情報共有ができたことを意味する。
- したがって、対象ベンダはIHEの意義や、合格対象プロファイルの実装要件を理解し、製品実装する能力があることをIHEは公表する。
- ただし、コネクタソンでは全てのIHEの要件について、実装確認をするものではない。
- 即ち、このベンダの**対象製品が確実に実装していることを、IHEが保証するものではない。**
 - IHE要件での実装をコネクタソン合格ベンダに発注したが、多額のオプション費用を請求された、という苦情が多く、ユーザーにとってもコネクタソンの意義が劣化していた。
- 合格対象スコープはコネクタソン開催地域のみで、地域の個別要件の実装が含まれることがある。

各社は統合宣言書でIHE準拠を公表するが…

病院側が要求仕様でIHE手順でのシステム連携を明記していたとしても…
いざ構築段階に入ると、ベンダからのこんな言葉で「がっかり」することがあるようです。

IHE準拠はしていますが、**オフショーン**ですので導入には**追加費用**がかかります

IHEで構築すると、**IHEの要件しか実装できません**が、それでもやりますか？

IHEで構築すると、**当社標準I/Fと異なる為、拡張要件開発**で費用がかかります

そろそろ、日本は**デジタル後進国**である、という危機感を持ちましょう。

コネクタソンシール制度とは

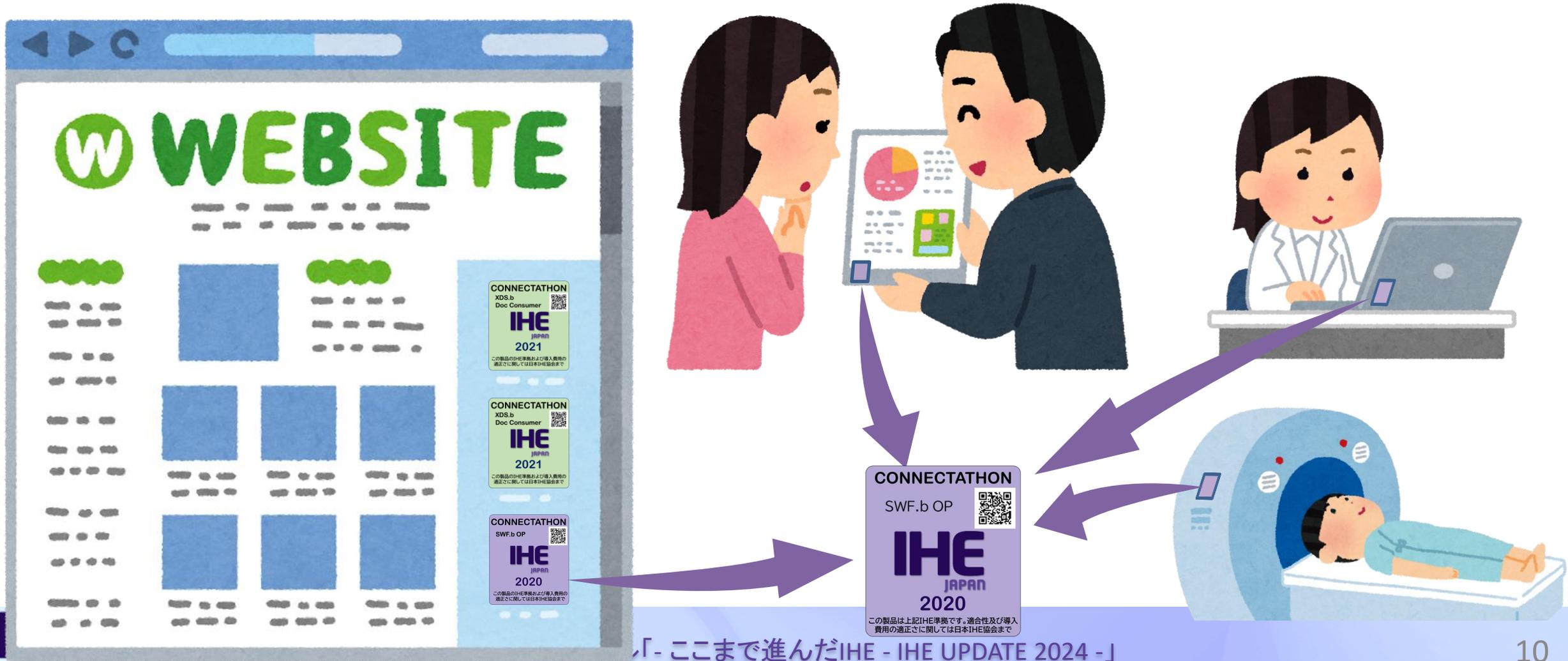
- 「コネクタソン合格した」というシール(マーク)を商材に添付できます。
- IHE統合宣言書の補助的な機能であり、統合宣言書の公開が前提です。
- シールデザインは IHE International により法的に保護されています。
- コネクタソン開催の国、地域毎に発行します。
- コネクタソン合格年が入りますが、添付期間に制限はありません。
- シール使用許諾に合意した全てのコネクタソン参加者が使用できます。
- 適合性認定シールとは異なり、IHEは製品品質の保証はいたしません。
- 日本ではシール下部に以下の文書を掲載します。
「この製品は上記IHE準拠です。適合性及び導入費用の適正さに関しては日本IHE協会まで」
- QRコードにて統合宣言書へのリンクをつけます。

※シールデザインは今後変更される可能性があります。



コネクタシールを使うと...

製品紹介ホームページや、パンフレット等の商材や、PC、モニタや、ガントリー、イメージプロセッサなどの実機に添付してアピールできます。



CONNECTATHON

A

B

IHE

JAPAN

2020

この製品は上記IHE準拠です。適合性及び導入費用の適正さに関しては日本IHE協会まで

コネクタソンシールの使用方法

- コネクタソンシールはイメージファイルのご提供になります。
- 製品に添付するシールには、以下の項目を追加して下さい。
 - (1) 合格した統合プロフィールとアクター名 (A領域)
 - (2) 製品の統合宣言書のURLを示すQRコード (B領域)
- 統合プロフィール名には、略号を使用して下さい。アクター名には、略号があれば略号を、ないときは英語で記載して下さい。

【例】 SWF.b OF, OP, IM/IA
XCA Initiating Gateway
CT Time Server

- プロファイル、アクター名は文字サイズを調整し、複数併記しても構いません。
- QRコードの大きさは、サンプルを参考にして、同じようなレイアウトにして下さい。
- 製品に貼付するシールのサイズは、最適なサイズに拡大縮小して下さい。
(縦横比の変更や、AB領域以外のデザイン変更は不可)。



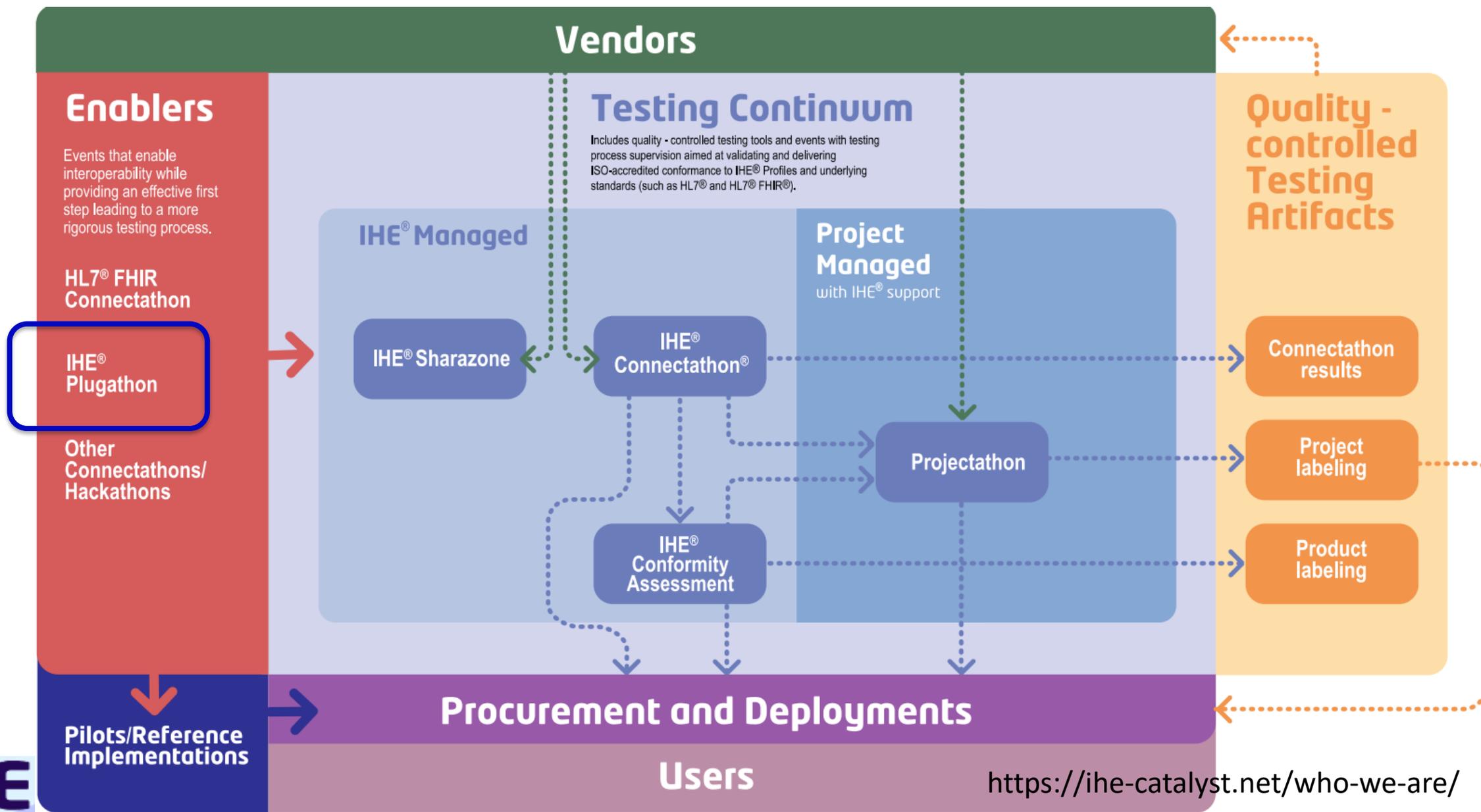
EU Connectathon でも発行開始！

<https://connectathon.ihe-europe.net/ihe-connectathon-seal>

- コネクタソンシールは日本提案で、IHE Internationalが2020年に承認した国際的な制度です。
- これまでは日本でのみシール発行をしておりました。
- 日本でのシール発行実績を受けて、International側でもシールの利点に注目し、今年より EU Connectathonで、Sealの発行を開始しました。
- シールは地域のコネクタソンそれぞれで発行しますので、日本でも並行でシールの発行を続けて参ります。

The screenshot shows the website for the IHE Connectathon SEAL. The header includes the IHE Europe logo and the event name 'CONNECTATHON TRIESTE JUNE 3-7 2024'. A navigation menu lists 'Connectathon WEEK', 'Connectathon WEEK 2023', and 'Connectathon Week 2024'. Below the menu, there are links for 'IHE Connectathon SEAL', 'IHE Experience Days 2024', and 'Monitors 2024'. The main content area features a large purple box with the text 'IHE Connectathon SEAL' and a description: 'The IHE Connectathon SEAL is a new IHE mechanism to recognize a vendor's interoperability capability.' To the right of this text is a QR code and a graphic of the 'CONNECTATHON EUROPE VALIDATED IHE XDS-MS ACME 2024' seal. Below the main text, there is a section titled 'Why the SEAL - Advantages for Vendors' which explains that the seal is granted to vendors who have successfully completed testing of IHE profiles at an IHE Connectathon event. Another section, 'The evidence of successful IHE-Europe Connectathon participation', states that the seal serves as proof of a vendor's participation in the event and successful testing of IHE profiles. At the bottom, there is a section titled 'How to Achieve and Use It'. On the right side of the page, there is a sidebar with a search bar, a 'Follow IHE-Europe on LinkedIn' button, a 'Useful LINKS' section with links to 'Connectathon Results', 'Technical Registration & Resources', and 'Products Registry', and a 'Keep up to date with IHE-Europe' newsletter subscription box with a 'Subscribe' button.

医療情報共有環境実装に向けた接続性検証のイベント



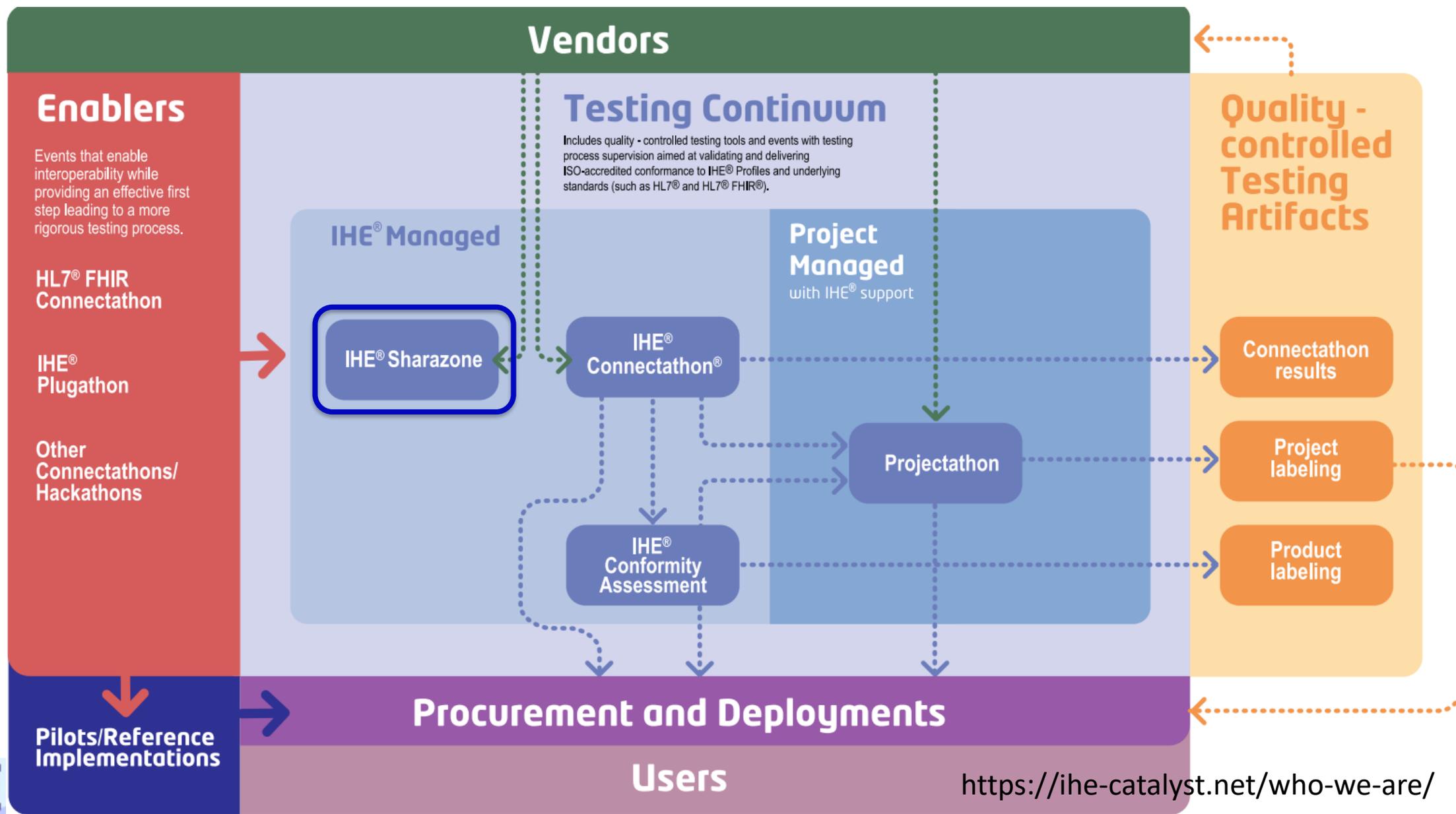
Plugathon → 新しいプロファイルを皆で実装する

- 画像系AIやFHIR等の新しいプロファイルを対象
 - 各社で実装中の半製品を持ち寄って連携してみる
 - ファシリテータがプロファイルの解説や連携作業を支援
 - ユースケースを想定して実際に連携、問題箇所があれば報告→TFの修正へ
 - 関連する教育セッションも用意されている。
- 来年、日本でも挑戦！

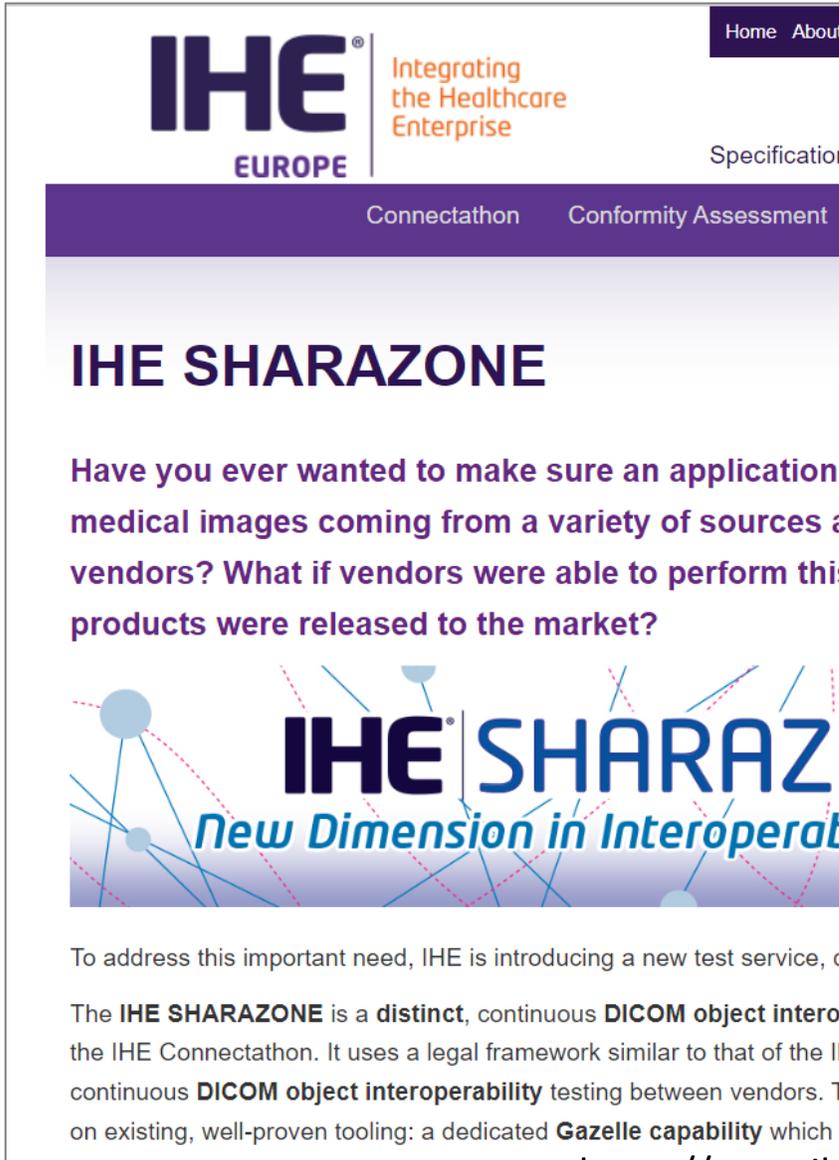


IHE EU Connectathon 2024 Trieste Italy Jun.3-7 2024

医療情報共有環境実装に向けた接続性検証のイベント



Sharazone → コンテンツ検証用エコシステム

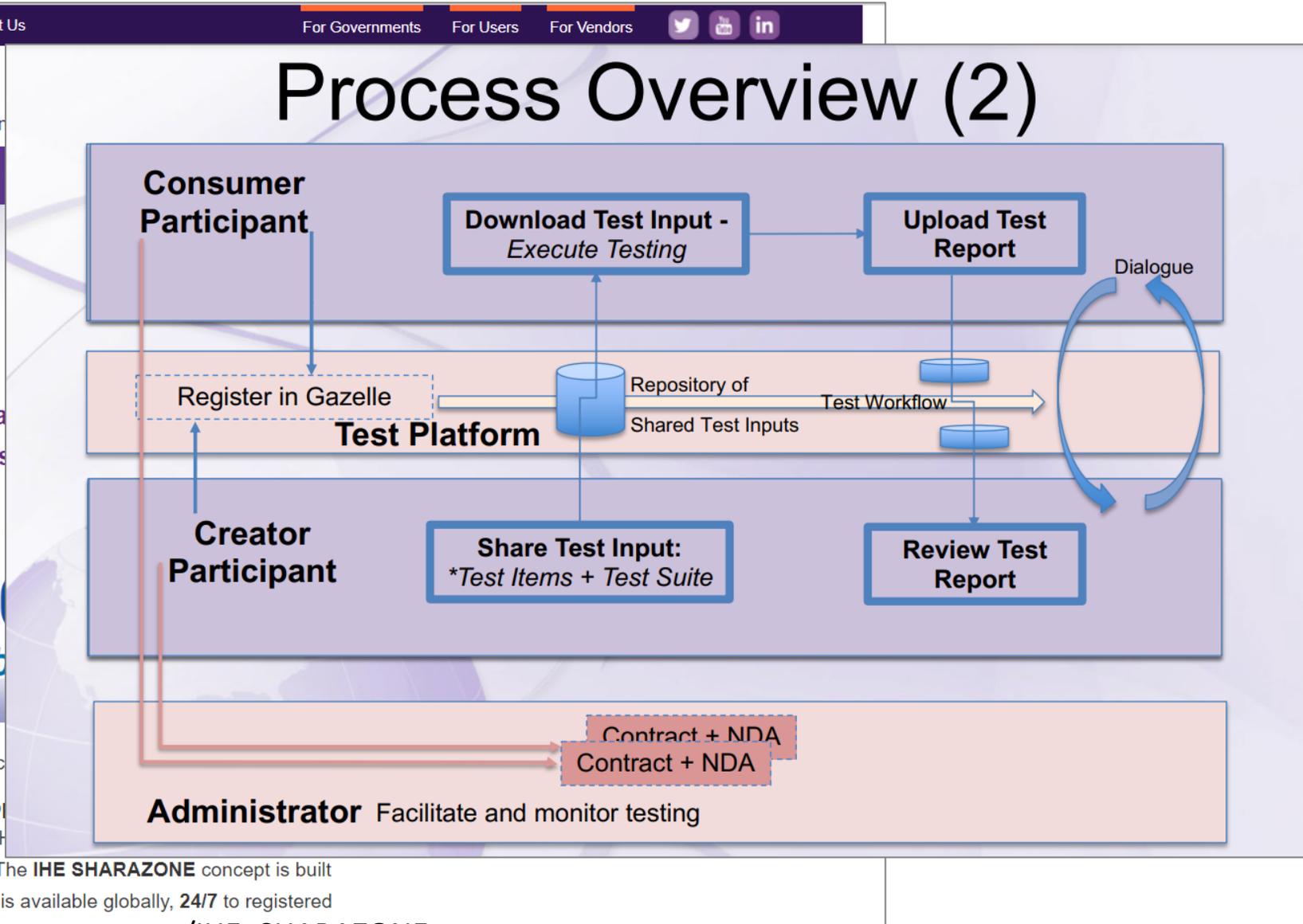


IHE SHARAZONE

Have you ever wanted to make sure an application medical images coming from a variety of sources and vendors? What if vendors were able to perform this testing on their products were released to the market?

To address this important need, IHE is introducing a new test service, called Sharazone. The IHE SHARAZONE is a distinct, continuous DICOM object interoperability testing between vendors. The IHE SHARAZONE concept is built on existing, well-proven tooling: a dedicated **Gazelle capability** which is available globally, 24/7 to registered vendors.

Process Overview (2)



```

graph TD
    subgraph CP [Consumer Participant]
        D[Download Test Input - Execute Testing] --> U[Upload Test Report]
    end
    subgraph TP [Test Platform]
        R[Repository of Shared Test Inputs]
        T[Test Workflow]
    end
    subgraph CR [Creator Participant]
        S[Share Test Input: *Test Items + Test Suite] --> R
        R --> T
        T --> R
        R --> U
        U --> R
        R --> RV[Review Test Report]
    end
    subgraph AD [Administrator]
        C1[Contract + NDA]
        C2[Contract + NDA]
    end
    AD --> CR
    AD --> CP
    AD --> TP
    AD --> U
    AD --> RV
    
```

The diagram illustrates the process flow between four main roles:

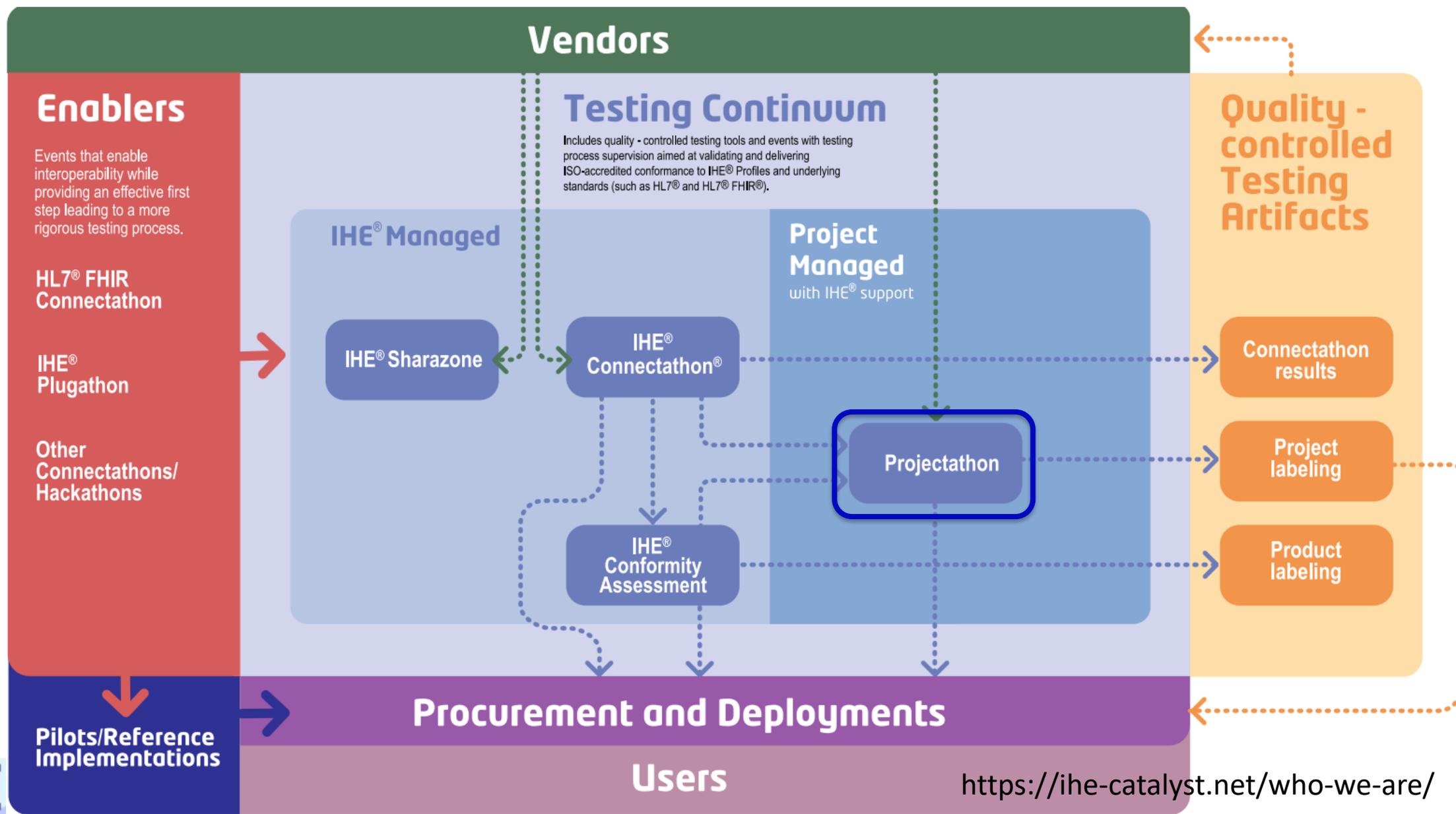
- Consumer Participant:** Downloads test input and executes testing, then uploads the test report.
- Test Platform:** Acts as a central hub, containing a repository of shared test inputs and a test workflow.
- Creator Participant:** Shares test inputs (test items and test suite) with the Test Platform, which then feeds into the Test Workflow. The workflow also feeds back into the repository.
- Administrator:** Facilitates and monitors testing, providing legal frameworks (Contract + NDA) to both the Creator and Consumer participants.

A **Dialogue** loop is shown between the Consumer Participant and the Test Platform, indicating an iterative process.

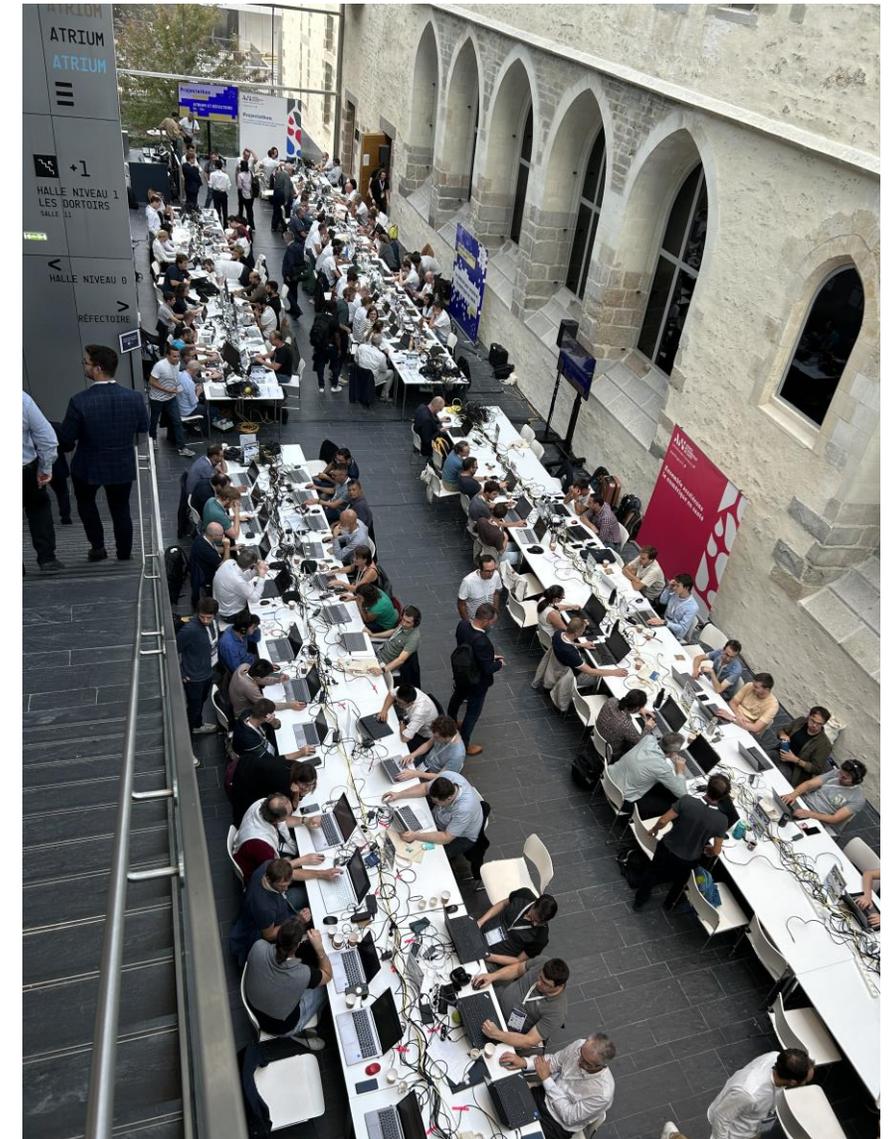
https://www.ihe-europe.net/IHE_SHARAZONE

IHE チュートリアル「ここまで進んだIHE - IHE UPDATE 2024 -」

医療情報共有環境実装に向けた接続性検証のイベント



Projectathon → 大規模プロジェクト向け検証



コネクタソンシールを採用して日本の医療ITを変えよう！

【医療機関の皆様】

既存の情報システムを拡張する際は、
新たに情報システムを構築する際は、

是非とも**コネクタソンシールがついた製品を選びましょう！**

【医療システムベンダの皆様】

外部システムとの標準連携インターフェイスは、ベースをIHEで開発し、

是非とも**コネクタソンシールがついた製品を売きましょう！**

その上で、拡張が容易にできる仕組みを提供しましょう！

日本は法律で強制しなくても、しっかりやれる国のはずです！



ご清聴ありがとうございました。